

大腸がん検診を受けましょう!!

大腸がんにかかる人はこの30年で約6倍に増えており、女性のがん死亡原因の第1位です。勝山市の実施する大腸がん検診においても5年間で19人に大腸がんが発見されました。大腸がんの特徴は進行するまで「自覚症状がない」ことです。自覚症状がなくても毎年受けることで早期がんの発見・早期治療開始につながります。

《忙しい方にもおすすめ》

大腸がん検査は便の中に血液が含まれているかどうかを調べる検査です。

大腸内にがん細胞やポリープがあると便が腸内を通るときに出血し便の表面に血液が付着します。

下記の方法で、2日分の便を採り、「すこやか」に提出するだけで簡単にできるがん検診です!

受付期間▼
平成30年1月31日まで



【検査手順】

①検査キットを受け取る

※キットは、郵送またはすこやか窓口
②番入
□)で配
布



②自宅で2日分の便を採取

※ポイントは、便の表面をなでるようにまんべんなくこする

※採取後は冷蔵庫で保管

③検査キットをすこやか窓口

受付日時▼月～金曜日(年末年始・祝祭日除く) 午前8時30分～午後5時15分

提出から約1か月で結果が自宅に届きます

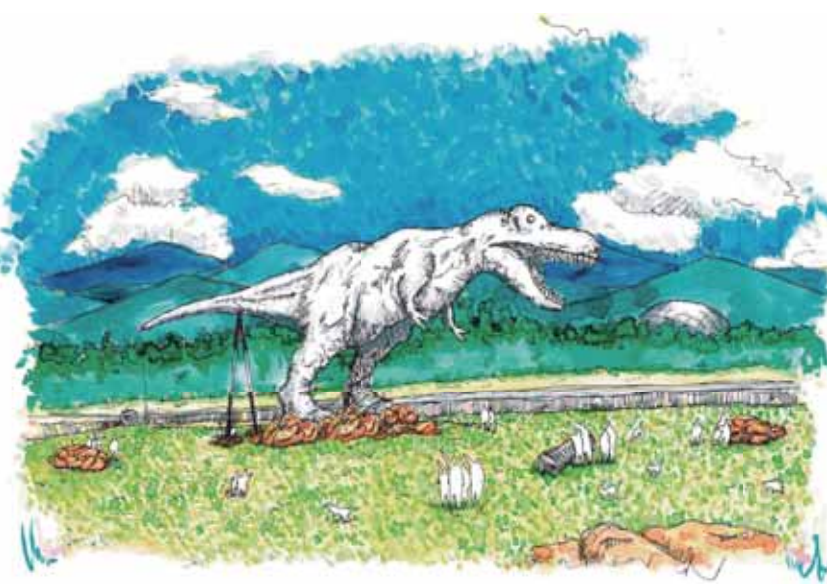
精密検査が必要となった方は大腸内視鏡検査を必ず受けましょう。

申・問 健康長寿課(すこやか内) ☎87・0888



復活のホワイトザウルス、いよいよお目見え

昨年夏に頭部が落下し、やむなくお別れすることになったホワイトザウルスが11月26日(日)に復活します。多くの人が別れを惜しんだお別れ会の後、ホワイトエッグが設置されたから約1年と3か月が経ちました。クラウドファンディングでは多額の寄付をいただくなど、いろいろな方の思いの詰まった2代目ホワイトザウルスとなります。



ホワイトザウルス de まんじゅうまき

イベント終了後、参加者には当日限り有効の恐竜博物館入場券をプレゼントします!

と き▶11月26日(日) 午前11時30分(予定)

ところ▶ホワイトザウルス広場

※周辺には駐車スペースがありませんのでご注意ください

☎ 観光政策課(市役所2階) ☎88-8117

11月26日(日)の完成式典後には、「ホワイトザウルス de まんじゅうまき」が行われます。チャマゴン、チャマリンをはじめとする恐竜ゆるキャラが集結し、くじ付きの「勝ち山おやき」をまきます。みんなでホワイトザウルスの復活を祝いましょう。

湯ったり勝山



10月の湯たりの日は、「湯ったり作品展」を開催しました。俳句やジグソーパズル、小物、子どもたちが描いたRUN伴(認知症の啓発イベント)の絵など、色鮮やかな作品がたくさん集まりました。



申・問 地域包括支援センター「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900

教育会館 勝山公民館 展示コーナー

◆油谷奈奈恵さんのおはなしトントン挿し絵展
福井新聞に掲載の創作童話「おはなしトントン」で担当した挿し絵を展示します。

展示期間▶11月13日(月)～26日(日)

※19日(日)は教育会館休館日です

◆上杉嘉豊さんのねんりんピック受賞作品

ねんりんピック秋田2017の美術展日本画部門で「秋田県知事賞」を受賞された作品をご紹介します。



展示期間▶11月27日(月)～12月10日(日)

☎ 勝山公民館(教育会館1階) ☎88-0800

人口の動き

	9月末現在	自然動態			社会動態			10月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	11,369人	3	-20	-17	9	-15	-6	11,346人	-23人
女	12,467人	2	-11	-9	24	-14	10	12,468人	1人
合計	23,836人	5	-31	-26	33	-29	4	23,814人	-22人
世帯数	8,004世帯							8,015世帯	11世帯

11月の納税

国民健康保険税▶第3期
納期限▶11月30日(木) □座振替▶11月27日(月)

ふるさとを訪ねて

地域文化を掘り起こそう⑧

市史編纂室 山田 雄造

今回は荒土町別所にある北袋山賢勝寺について紹介します。

荒土町別所の北袋山賢勝寺で、10月28日午前9時30分～正午の年中、午後2時～4時の速夜、午後5時～7時の初夜の3回に分けて報恩講が行われた。報恩講は浄土真宗の宗祖親鸞に対する報恩のため営まれる法要で、真宗の寺・道場さらに門徒にとっては、年中行事の中で最も重要な法要でもある。この日は勝山の各寺院から住職を招き、荒土区を中心とした周辺地区の同行がお参りして、盛大に法要が営まれる。

賢勝寺は嶋田将監正房の子正良が天正15年(1587)、森川村に創立した「惣道場」に遡る。その子正重以後は代々忠右衛門を号し、「高千六百石、山林三千ヶ所、召抱男女百人、牛馬二十匹」を所有し、北袋五三ヶ村「惣道場」の講元となった。祖父将監は北袋の一揆を率い、平泉寺を滅ぼした人物として知られ、更にその祖先をたどると、平泉寺で修業していた恵秀律師に至り、その伯父は楠正成である。恵秀は晩年保田村に閑居し、保田殿と呼ばれるようになった。

嘉永3年(1850)には「北袋俱



(現在は冬期のみ)、同行衆が村々を廻り蓮如上人の徳を偲ぶ。

会精舎」の号を授かり、賢勝寺の由緒を書きあげた碑と同じく、それを記念した石碑も境内に立つ。現在地の別所に移転したのは明治29年(1896)で、昭和11年(1936)に賢勝寺の寺号を得た。上野賢勝寺と称するのは、森川村の上野に惣道場があったためである。その当時は報恩講を「御満様」と称し、参詣者も多く大法要が営まれた。

蓮如上人がこの地方を布教した折、先の忠右衛門が御伴をして案内した。その功により、上人が首にかけて布教していた親鸞聖人の御影像をいただきたい。北袋五三ヶ村の十六日講には、この御影像の御供をして春と秋の2回